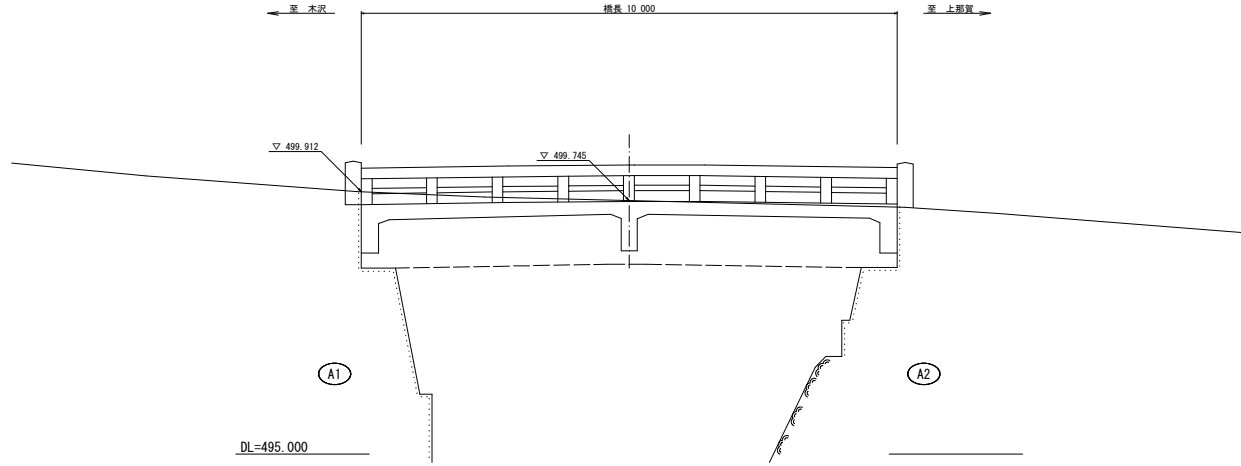
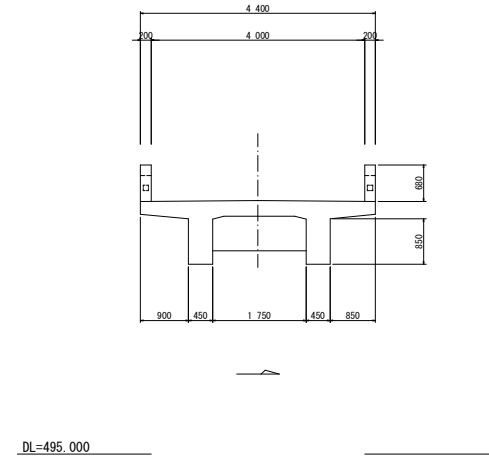


唐谷橋 橋梁一般図 S=1:50

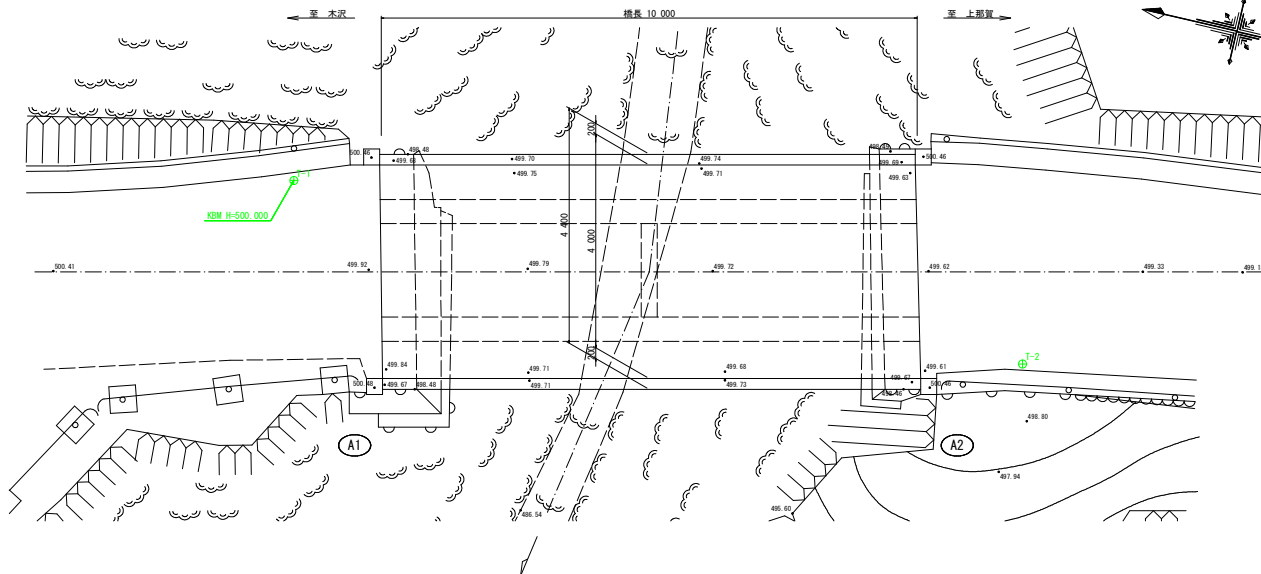
側面図



断面図



平面図



橋梁概要

路線名	一般県道 木次上那賀線
橋 種	二等橋(TL-14)
橋 長	10.000m
幅 員	4.400m(全幅員)
斜 角	90°(直線橋)
上部工	A1-A2径間 RCT桁橋
施工年次	1958年(昭和33年供用開始)
下部工	橋台 橋脚
施工年次	1958年(昭和33年供用開始)
交 差 物	(不明)
添 加 物	防護柵(コンクリート高欄)
適用示方書	昭和31年 鋼道路橋設計示方書

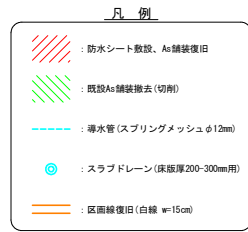
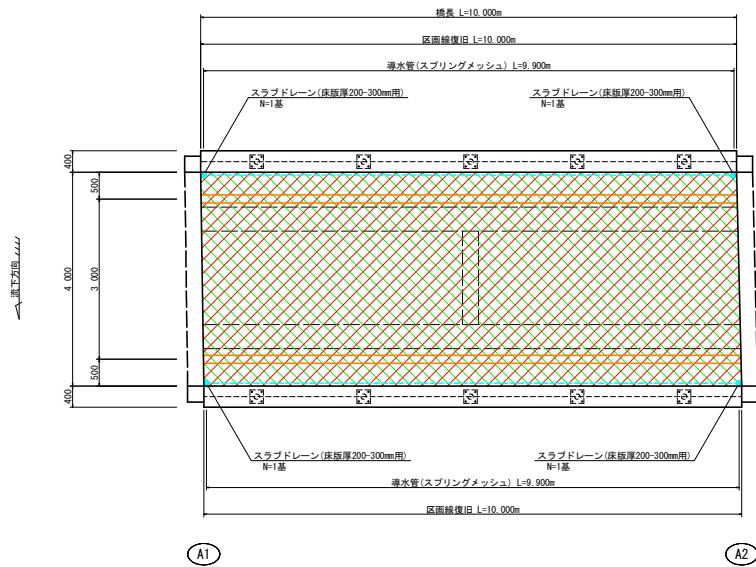
実施設計図面
(唐谷橋)

工 事 名	R1那土 木次上那賀線(唐谷橋)他1橋 那賀・川成他 橋梁修繕工事
路線名等	木次上那賀線他
工事箇所	那賀郡那賀町川成他
図 面 名	橋梁一般図
縮 尺	S=1:50 図面番号 1 / 11
会 社 名	
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>

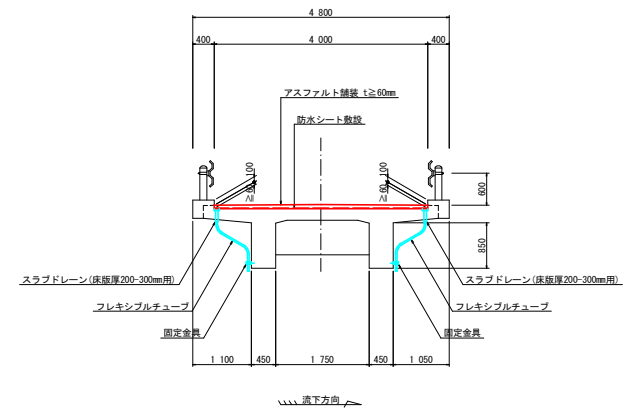
※) 図中の水準高さは任意とする。

橋面防水工敷設工詳細図

平面図 S=1:50
(橋面)



断面図



※) 地覆及び防護柵は、取り替え後の形状で示している。
 ※) フレキシブルチューブ及び固定金具は必要に応じて取り付けるものとする。

舗装打換工 (アスファルト舗装)

算式	数量	備考
撤去 A= 4.00×10.00	40.0 m ²	As:t≧60mm
復旧 A= 4.00×10.00	40.0 m ²	

橋面防水工 (シート系防水)

算式	数量	備考
面積 A= 4.00×10.00	40.0 m ²	

床版排水工 (導水管: スプリングメッシュφ12mm)

算式	数量	備考
延長 L= 9.9+9.9	19.8 m	

目地材 (成形目地材 厚5mm 幅30mm)

算式	数量	備考
延長 L= 9.9+9.9	19.8 m	

スラブレーン (削孔径: φ50)

算式	数量	備考
箇所 (床版厚 200-300mm対応)	4 基	

導水管 (フレキシブルチューブφ20mm: SUS304)

算式	数量	備考
延長 L= 4×1.20	4.8 m	

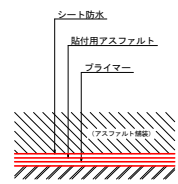
コンクリート削孔 (床版厚200-300mm)

算式	数量	備考
箇所 N= 4	4 孔 (削孔径50mm)	

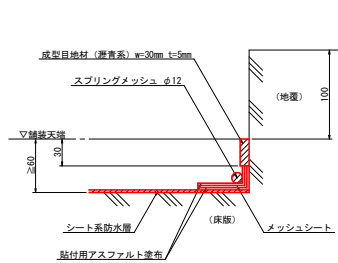
区画線工 (外側線復旧、白色、幅15cm)

算式	数量	備考
延長 L= 10.0+10.0	20.0 m	

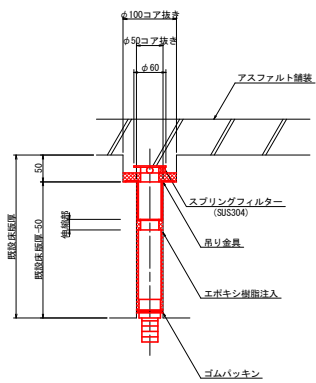
シート防水標準構成図 S=1:3



地覆部詳細構造 S=1:3



スラブレーン詳細 S=1:5



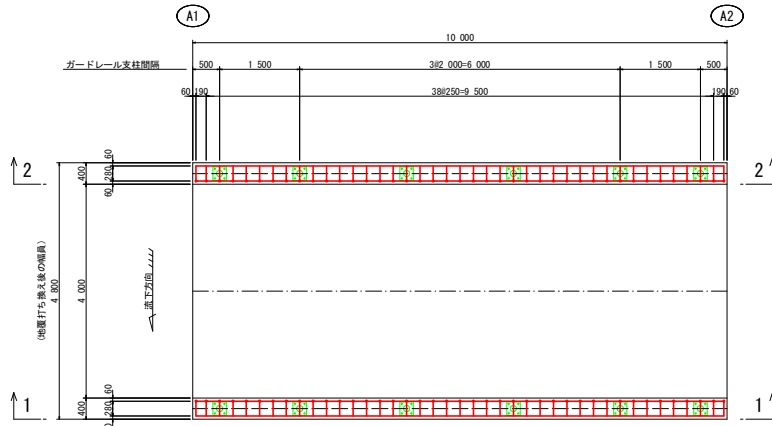
※) 図は参考であり、実施においては同等以上の性能を有する製品を使用すること。
 ※) 床版厚 200mm-300mmに対応した製品を使用すること。

実施設計図面
(唐谷橋)

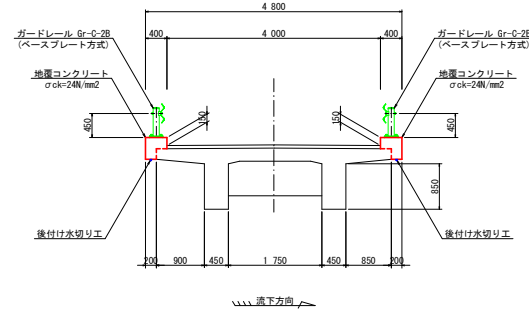
工事名	R1那土 木次上郷貫線(唐谷橋)他1橋 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	木次上郷貫線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	橋面防水工敷設工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南総合県民局(那賀)		

地覆防護柵取替え工詳細図

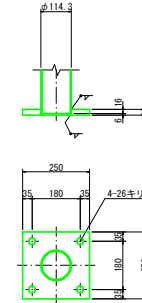
平面図 S=1:50



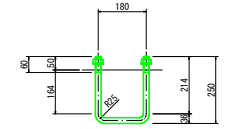
断面図 S=1:50



ベースプレート S=1:10



Uボルトアンカー S=1:10

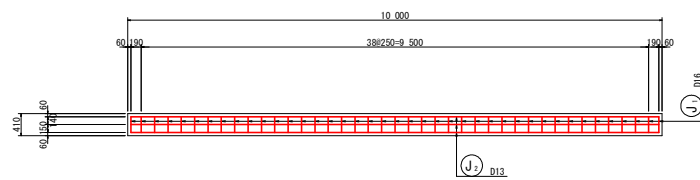


(撤去)既設地覆高欄 S=1:20

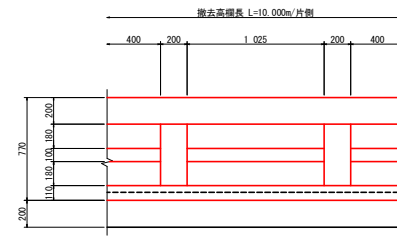
地覆防護柵詳細 S=1:20

側面図 S=1:50

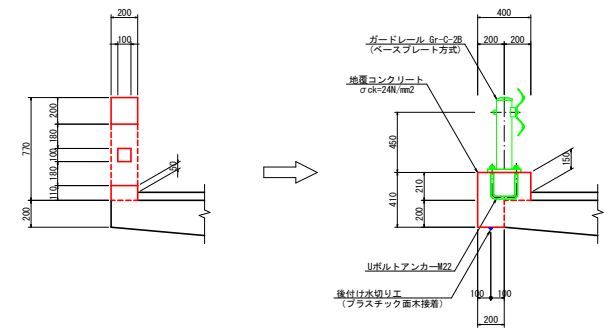
(1-1)



正面図

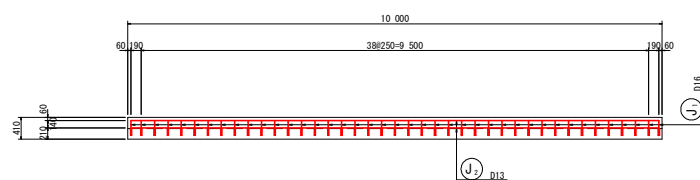


断面図

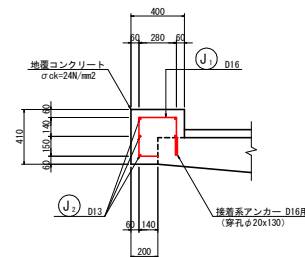


側面図 S=1:50

(2-2)

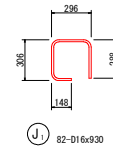


地覆配筋 S=1:20

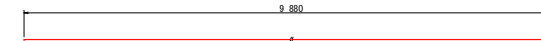


鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	換算
J ₁	D16	930	82	1.56	1.45	119	□
J ₂	D13	9,880	10	0.995	9.83	98	—
合計 D16					119 kg		
D13					98 kg		
総質量					217 kg		
接着系アンカー(φ16用)					82 本		



J₁ 82-D16x930



J₂ 10-D13x9,880

※) 接着系アンカーの削孔にあたっては、床版の残り厚さに注意すること。

※) 防護柵の仕様・施工法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定すること。

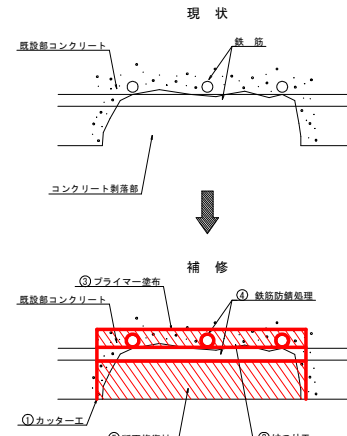
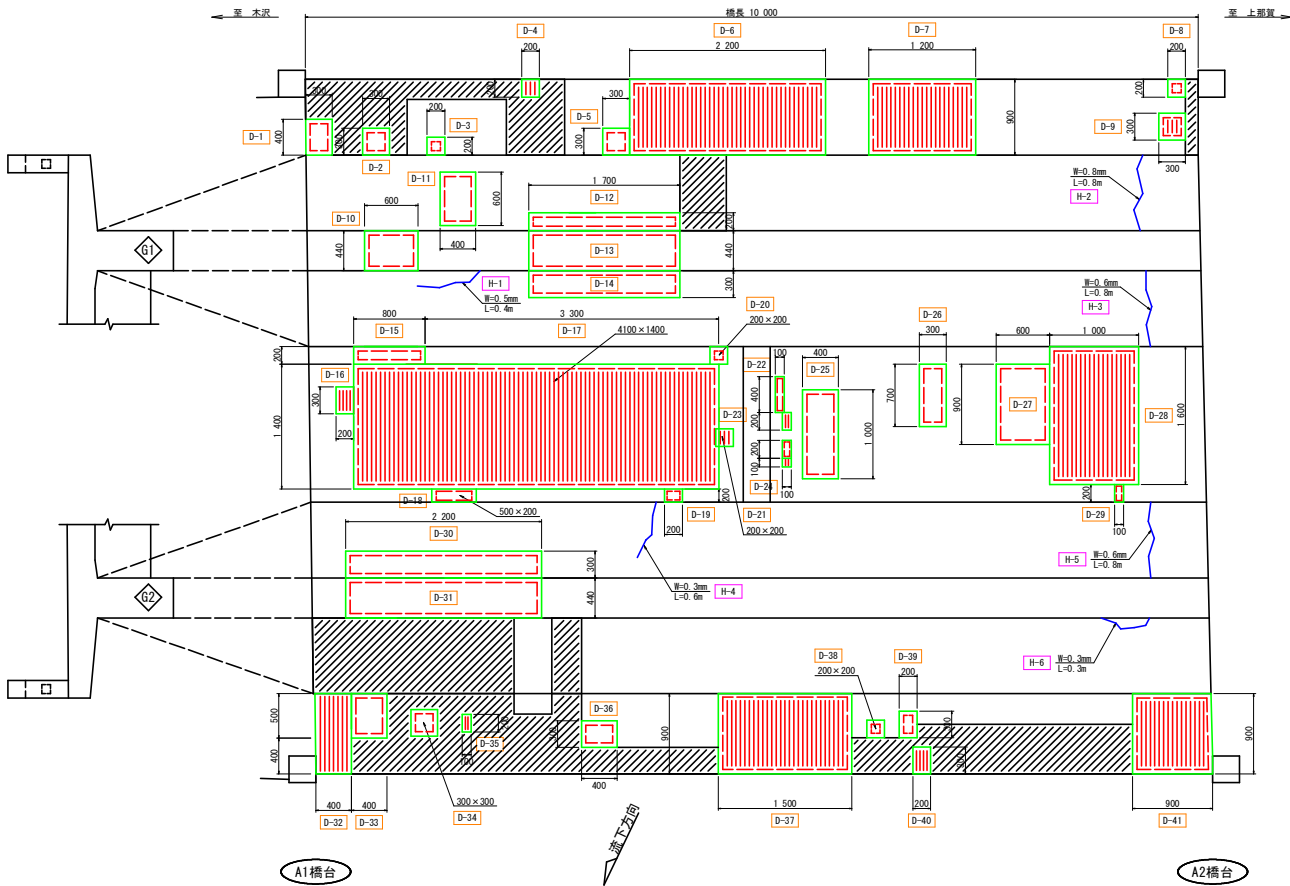
実施設計図面 (唐谷橋)

工事名	R1那土 木次上那賀線 (唐谷橋) 他1橋 那賀・川成他 橋梁修繕工事
路線名等	木次上那賀線他
工事箇所	那賀郡那賀町川成他
図面名	地覆防護柵取替え工詳細図
縮尺	図示 図面番号 3 / 11
会社名	
事業者名	徳島県南総合県民局(那賀)

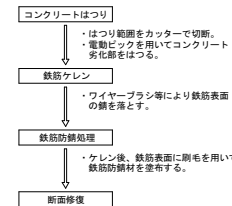
橋梁補修工詳細図

上部工下面 S=1:30

断面修復工
(左官工法)



施工フロー図



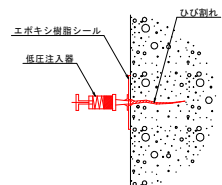
1) コナ差りは空隙を残さないように丁寧に施工する。
2) 1回の塗り厚さは断面修復材の仕様に基づき、何層かに分けて施工する。

断面修復工 総計 : (面積) $\Sigma A=19.45\text{m}^2$
(修復材) $\Sigma V=0.976\text{m}^3$

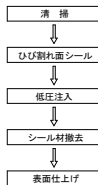
断面修復工数量表

番号	幅(m)	長さ(m)	面積(m ²)	厚さ(mm)	数量(m ³)
D-1	0.40	0.30	0.120	50	0.006
D-2	0.30	0.30	0.090	50	0.005
D-3	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-4	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-5	0.30	0.30	0.090	50	0.005
D-6	0.90	2.20	1.980	50	0.099
D-7	0.90	1.20	1.080	50	0.054
D-8	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-9	0.30	0.30	0.090	50	0.005
D-10	0.44	0.60	0.264	50	0.013
D-11	0.40	0.60	0.240	50	0.012
D-12	0.20	1.70	0.340	50	0.017
D-13	0.44	1.70	0.748	50	0.037
D-14	0.30	1.70	0.510	50	0.026
D-15	0.20	0.80	0.160	50	0.008
D-16	0.30	0.20	0.060	50	0.003
D-17	1.40	4.10	5.740	50	0.287
D-18	0.20	0.50	0.100	50	0.005
D-19	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-20	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-21	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-22	0.40	0.10	0.040	50	0.002
D-23	0.20	0.10	0.020	50	0.001
D-24	0.30	0.10	0.030	50	0.002
D-25	1.00	0.40	0.400	50	0.020
D-26	0.70	0.30	0.210	50	0.011
D-27	0.90	0.60	0.540	50	0.027
D-28	1.60	1.00	1.600	50	0.080
D-29	0.20	0.10	0.020	50	0.001
D-30	0.30	2.20	0.660	50	0.033
D-31	0.44	2.20	0.968	50	0.048
D-32	0.90	0.40	0.360	50	0.018
D-33	0.50	0.40	0.200	50	0.010
D-34	0.30	0.30	0.090	50	0.005
D-35	0.20	0.10	0.020	50	0.001
D-36	0.30	0.40	0.120	50	0.006
D-37	0.90	1.50	1.350	50	0.068
D-38	0.20	0.20	0.040	50	0.002
D-39	0.30	0.20	0.060	50	0.003
D-40	0.30	0.20	0.060	50	0.003
D-41	0.90	0.90	0.810	50	0.041
合計			19.450		0.976

ひび割れ注入工



施工フロー図



ひび割れ注入工数量表

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)
H-1	0.50	0.40	0.30	0.094
H-2	0.80	0.80	0.30	0.300
H-3	0.60	0.80	0.30	0.225
H-4	0.30	0.60	0.30	0.084
H-5	0.60	0.80	0.30	0.225
H-6	0.30	0.30	0.30	0.042
合計		3.70		0.970

※ ひび割れ深さは構造形状からの想定

ひび割れ注入工 総計 : (延長) $\Sigma L=3.70\text{m}$
(注入量) $\Sigma V=0.970\text{kg}$

※ 低圧注入器設置間隔 #300(標準)

※ 注入量の算出要領

$V=1200bh+hl+1.30$
V: 注入量
b: ひび割れ幅
h: ひび割れ深さ
L: ひび割れ長さ
1200: 五水キシ樹脂系注入材 比重(kg/m³)
1.30: ロス率

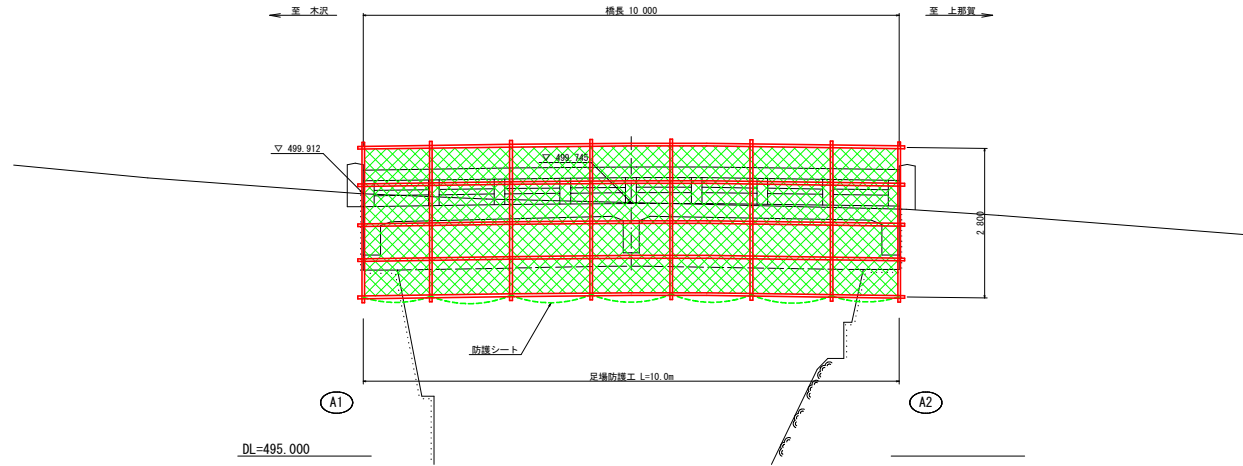
実施設計図面 (唐谷橋)

工事名	R1郡土 木沢上郷貫線(唐谷橋)他1橋 郡貫・川成他 橋梁補修工事		
路線名等	木沢上郷貫線他		
工事箇所	郡貫郡那賀町川成他		
図面名	橋梁補修工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	4 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南郡総合県民局(郡貫)		

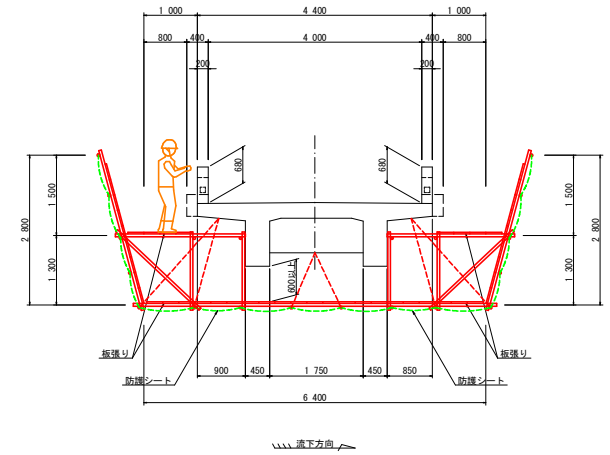
仮設工詳細図 S=1:50

〈吊り足場工〉

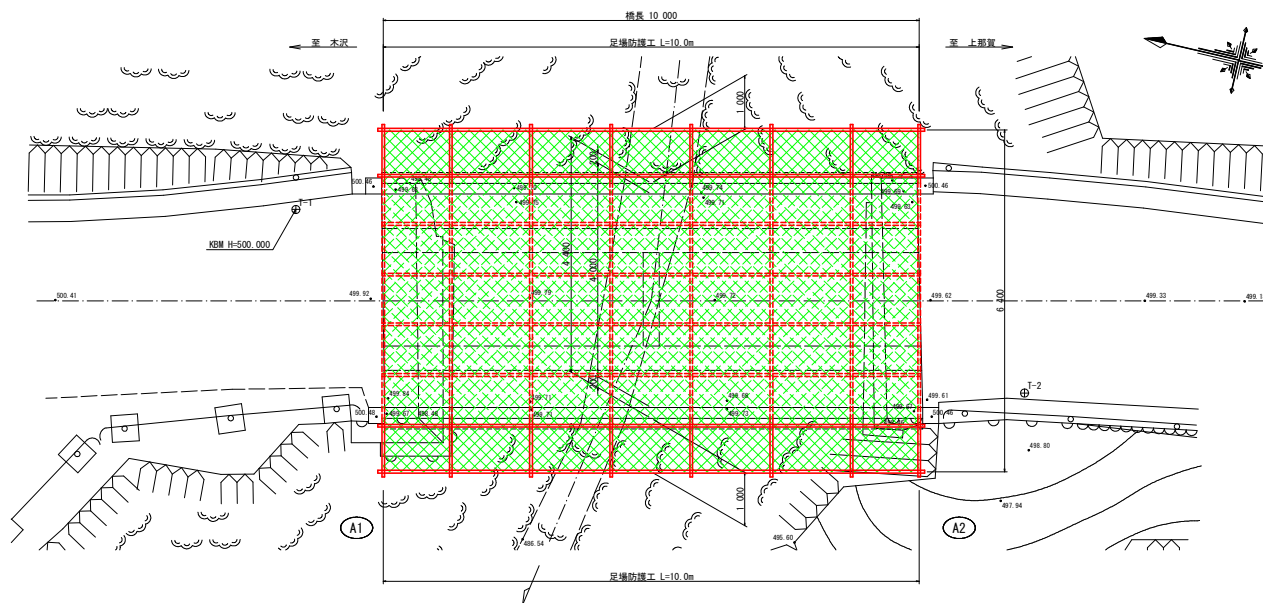
側面図



断面図



平面図



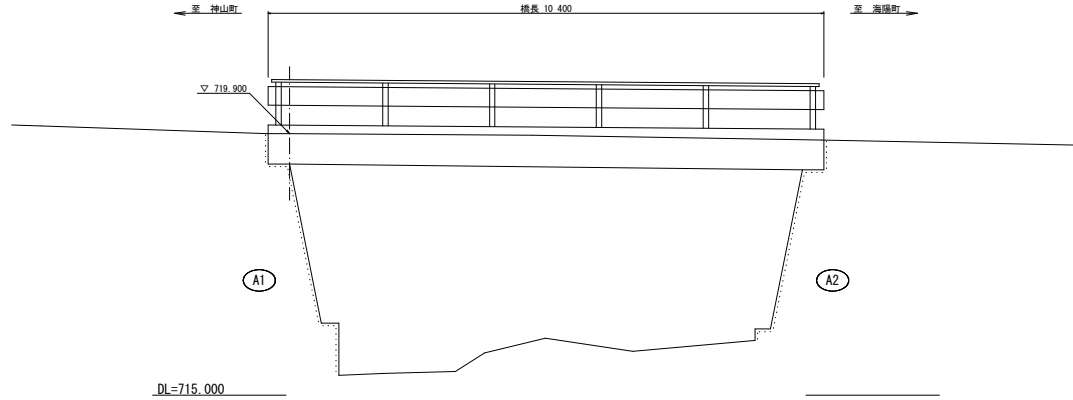
- ※) 主桁形状は、類似例からの想定したものである。
- ※) 地覆及び防護柵の取替え工事のため、足場の支点はそれ以外の部材に確保する。
- ※) 足場の幅は、取替え後の地覆幅を基準に設置するものとする。
- ※) 実施にあたっては現地に合わせて、適宜、計画の調整を行うものとする。

実施設計図面 (唐谷橋)

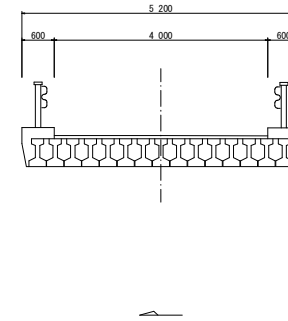
工事名	R1那土 木次上那賀線 (唐谷橋) 他1橋 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	仮設工詳細図		
縮尺	S=1:50	図面番号	5 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局〈那賀〉		

無名1橋 橋梁一般図 S=1:50

側面図

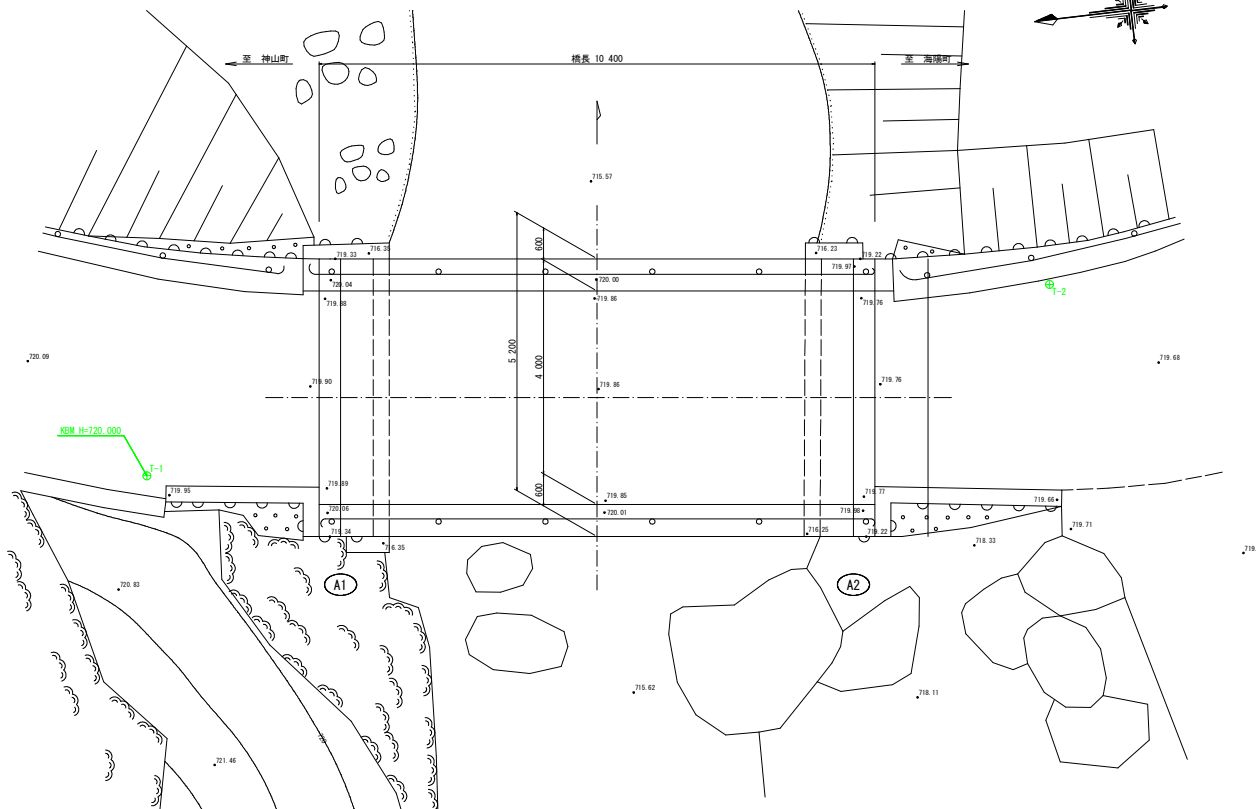


断面図



※) 主桁形状は、類似例からの想定したもの

平面図



橋梁概要

路線名	一般国道 193号
橋 橋	二等橋(TL-9)
橋 長	10,400m
幅 員	5,200m(全幅員)
斜 角	90°(直線橋)
上部工	A1-A2径間 単線PCプレテンション床版橋
施工年次	1951年(昭和26年供用開始)
下部工	橋台 橋脚 重力式橋台(直礎基礎)
施工年次	1951年(昭和26年供用開始)
交 差 物	おおつく谷
添 加 物	防護柵(ガードレール)
適用示方書	昭和14年 鋼道路橋設計示方書(案)

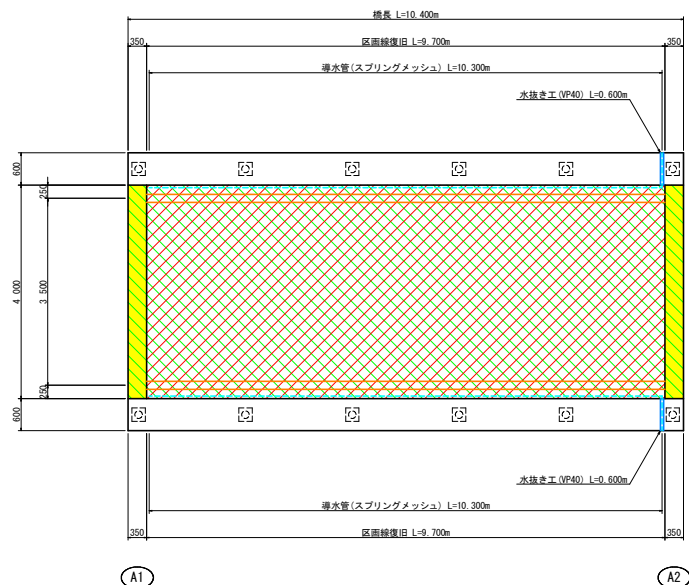
実施設計図面 (無名1橋)

工事名	R1那土 木次上那賀線(唐谷橋)他1橋 那賀・川成他 橋梁修繕工事
路線名等	木次上那賀線他
工事箇所	那賀郡那賀町川成他
図面名	橋梁一般図
縮 尺	S=1:50
図面番号	6 / 11
会 社 名	
事業者名	徳島県南都総合県民局<那賀>

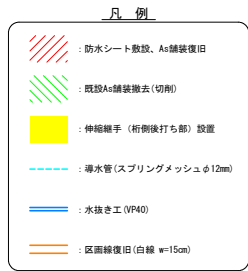
※) 図中の水準高さは任意とする。

橋面防水工敷設工詳細図

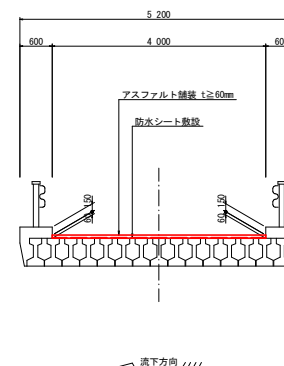
平面図 S=1:50
(橋面)



↓ 橋下方向 ↓



断面図 S=1:50



↓ 橋下方向 ↓

舗装打換工(アスファルト舗装)

	算式	数量	備考
撤去	$A = 4.00 \times 10.40$	41.6 m ²	As: t ≥ 60mm
復旧	$A = 4.00 \times 9.70$	38.8 m ²	

水抜き工(VP管φ40)

	算式	数量	備考
面積	$L = 0.6 + 0.6$	1.2 m	VP管φ40

橋面防水工(シート系防水)

	算式	数量	備考
面積	$A = 4.00 \times 9.70$	38.8 m ²	

床版排水工(導水管:スプリングメッシュφ12mm)

	算式	数量	備考
延長	$L = 10.3 + 10.3$	20.6 m	

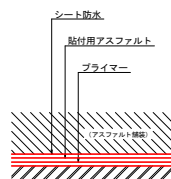
目地材(成形目地材 厚5mm 幅30mm)

	算式	数量	備考
延長	$L = 10.3 + 10.3$	20.6 m	

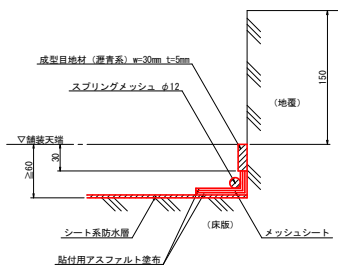
区画線工(外側線復旧、白色、幅15cm)

	算式	数量	備考
延長	$L = 9.7 + 9.7$	19.4 m	

シート防水標準構成図 S=1:3

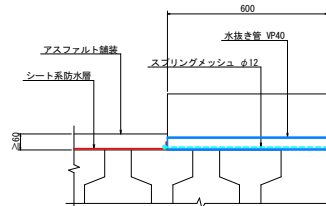


地覆部詳細構造 S=1:3

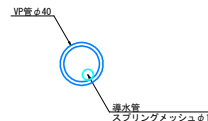


水抜き工構造図

地覆部断面図 S=1:10



水抜き管断面図 S=1:3



※ 導水管流束の水抜き工 (VP管φ40) は、地覆取替工の施工時に設置する。

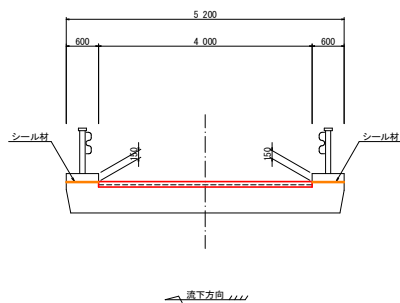
実施設計図面
(無名1巻)

工事名	R1那土 木次上那賀線(唐谷橋)他1橋 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	橋面防水工敷設工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	7 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(那賀)		

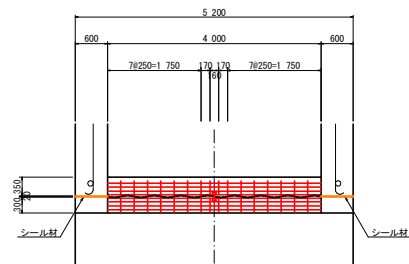
伸縮継手取替え工詳細図

A 1 橋台 S=1:50

断面図

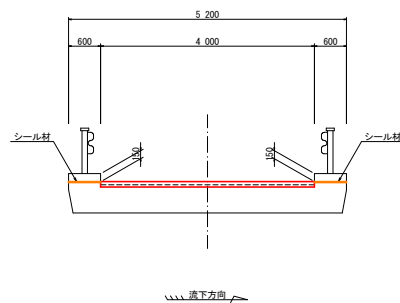


平面図

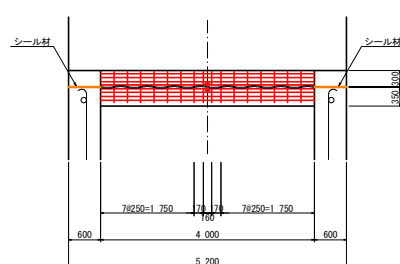


A 2 橋台 S=1:50

断面図

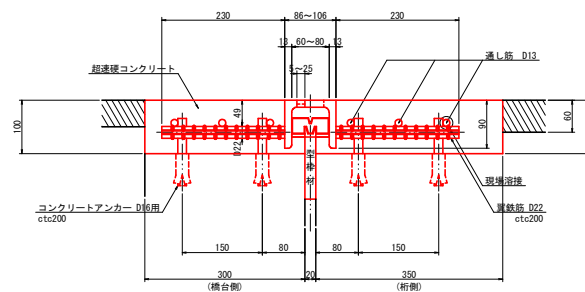


平面図

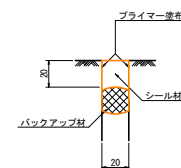


伸縮継手断面図 S=1:5

車道用(設計伸縮量20mm対応)



シーリング材充填図 S=1:2



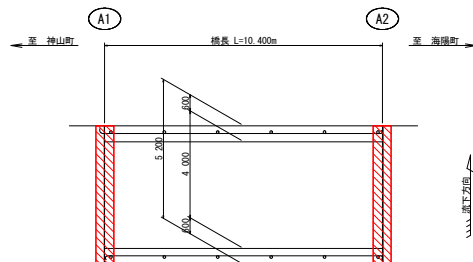
伸縮継手材料表

名称	材質	A1側	A2側	合計	備考
車道用伸縮継手 (荷重支持型、設計伸縮量20mm対応)	SS400, SD345 弾性シーリング材 樹脂系接着剤	4,000 m	4,000 m	8,000 m	車道用、通し筋を含む
シーリング材	シリコン系	0.48 l	0.48 l	0.96 l	地盤部
後打コンクリート	超速硬コンクリート	0.260 m ³	0.260 m ³	0.520 m ³	
コンクリートアンカー D16用		64 本	64 本	128 本	

※) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。

※) 既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。

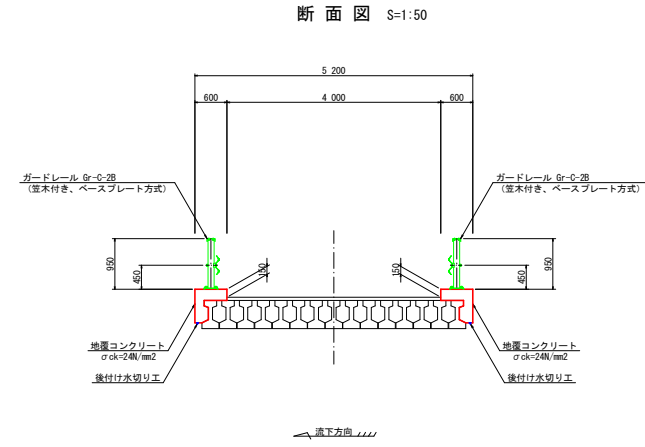
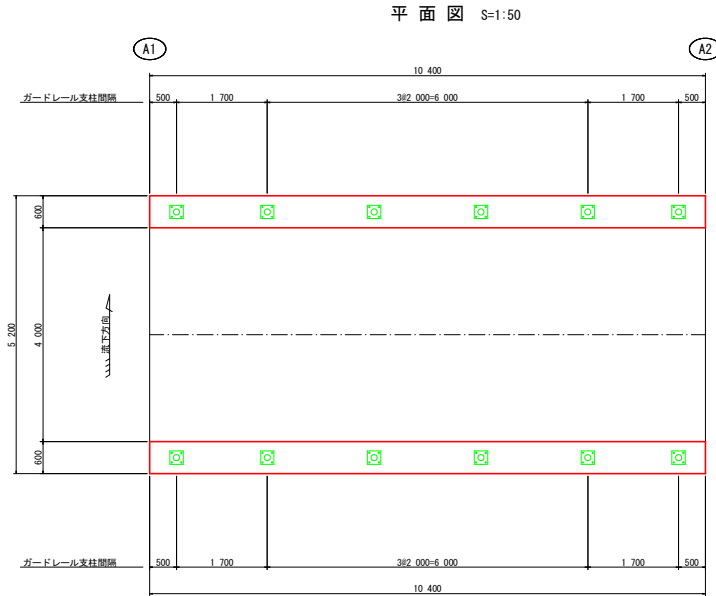
位置図



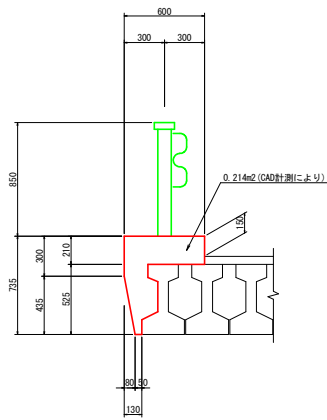
実施設計図面
(無名1巻)

工事名	R1郡土 木次上那賀線(唐谷橋)他1橋 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	伸縮継手取替え工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	8 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(那賀)		

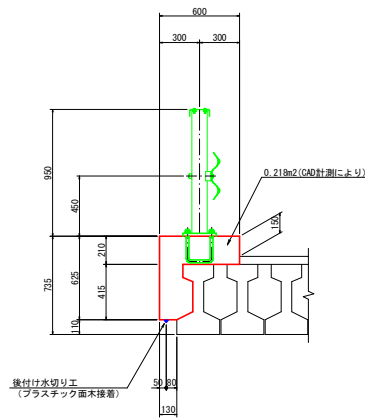
地覆防護柵取替え工詳細図



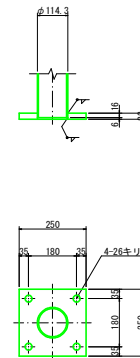
(撤去) 既設地覆防護柵 S=1:20



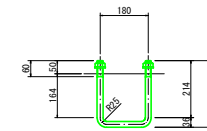
地覆防護柵詳細 S=1:20



ベースプレート S=1:10



Uボルトアンカー S=1:10



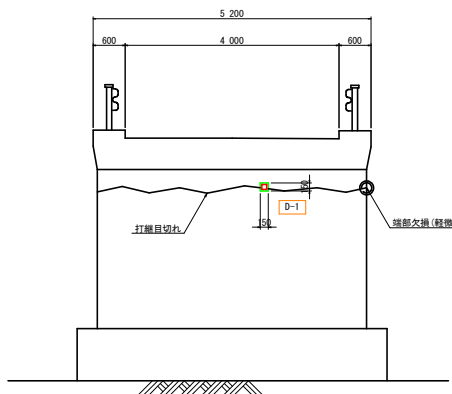
- ※) 既設の地覆はコンクリートのみを撤去し、内部鉄筋はそのまま使用する。
- ※) 内部鉄筋の錆等は適切に除去し、防錆処理を施す。
- ※) 防護柵の仕様・諸寸法・適合の可否は、現地再調査及び鉄筋露出後、再検討の上で決定すること。
- ※) 地覆取替は、既設撤去後に確認する主桁形状に合わせて、再検討の上で決定すること。

実施設計図面 (無名1様)

工事名	R1那土 木次上那賀線 (唐谷橋) 他1橋 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	木次上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	地覆防護柵取替え工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	9 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

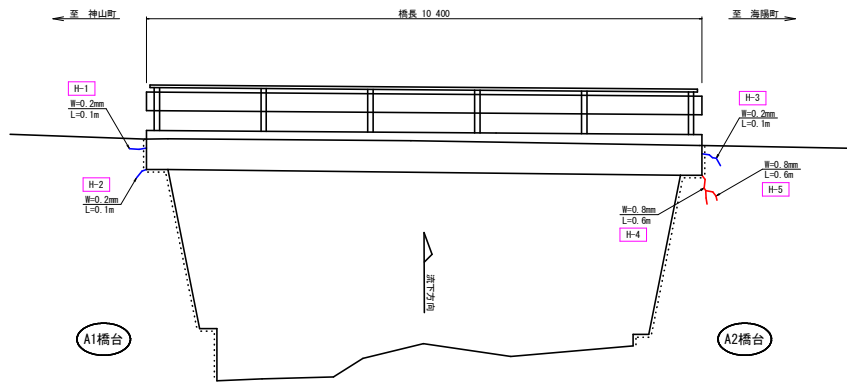
橋台補修工詳細図

A1橋台正面図

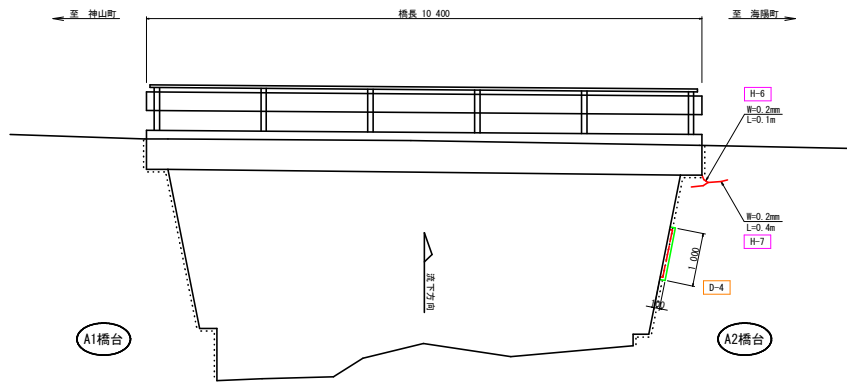


流下方向

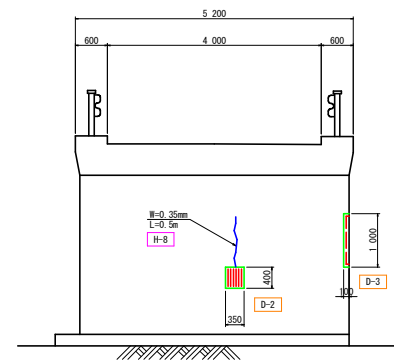
側面図
(上流側)



側面図
(下流側)

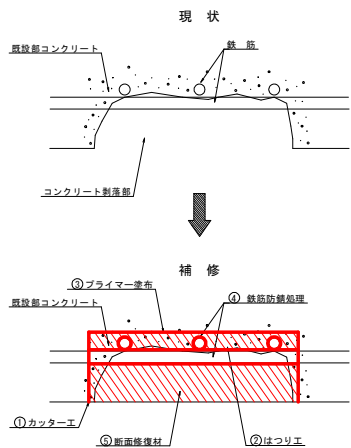


A2橋台正面図



流下方向

断面修復工
(左官工法)



施工フロー図

- ① コンクリートはつり
 - ・はつり範囲をカッターで切断。
 - ・電動ドリルを用いてコンクリート劣化部をはつる。
- ② 鉄筋ケレン
 - ・ファイヤーブラシ等により鉄筋表面の錆を落とす。
- ③ 鉄筋防錆処理
 - ・ケレン後、鉄筋表面に刷毛を用いて鉄筋防錆材を塗布する。
- ④ 断面修復

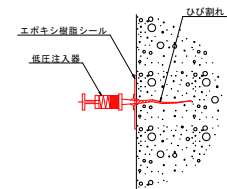
1) コテ塗りは空隙を残さないように丁寧に施工する。
2) 1回の塗り厚さは断面修復材の仕様の塗り厚さに従い、何層かに分けて施工する。

断面修復工数量表

番号	幅(m)	長さ(m)	面積(m ²)	厚さ(mm)	数量(m ³)
D-1	0.15	0.15	0.023	50	0.001
D-2	0.25	0.40	0.100	50	0.005
D-3	0.10	1.00	0.100	50	0.005
D-4	0.10	1.00	0.100	50	0.005
合計			0.363		0.018

断面修復工 総計 : (面積) ΣA=0.363m²
(修復材) ΣV=0.018m³

ひび割れ注入工



※ 低圧注入器設置間隔 ③00(標準)
※ 注入量の算出要領
V=1200bHhL
V: 注入量
b: ひび割れ幅
h: ひび割れ深さ
L: ひび割れ長さ
1200: エポキシ樹脂系注入材 比重(kg/m³)
1.30: ロス率

施工フロー図

- ① 清掃
- ② ひび割れ面シール
- ③ 低圧注入
- ④ シール材除去
- ⑤ 表面仕上げ

ひび割れ注入工数量表

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(m ³)
H-1	0.20	0.10	0.30	0.009
H-2	0.20	0.10	0.30	0.009
H-3	0.20	0.10	0.30	0.009
H-4	0.80	0.60	0.30	0.225
H-5	0.80	0.60	0.30	0.225
H-6	0.20	0.10	0.30	0.009
H-7	0.20	0.40	0.30	0.037
H-8	0.35	0.50	0.30	0.082
合計		2.50		0.605

※ ひび割れ深さは躯体構造からの想定

ひび割れ注入工 総計 : (延長) ΣL=2,500m
(注入量) ΣV=0.605kg

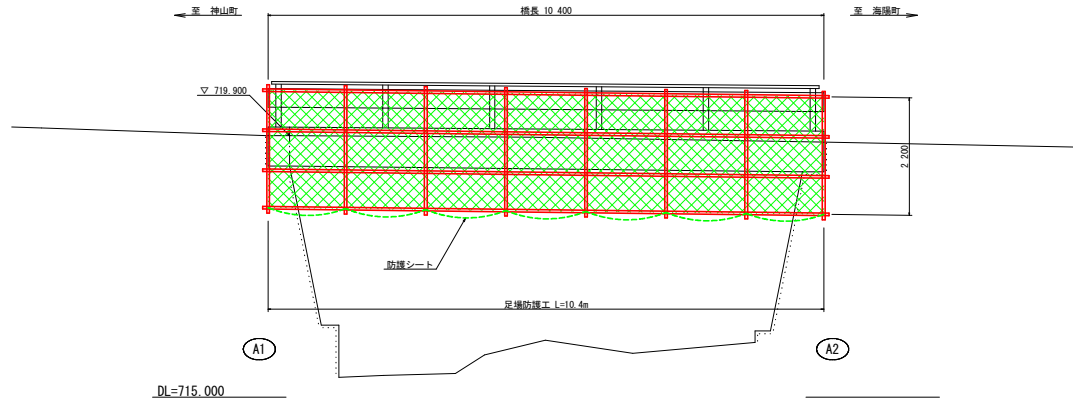
実施設計図面
(無名1様)

工事名	R1那土 木次上那賀線(唐谷橋)他1橋 那賀・川成他 橋梁補修工事
路線名等	木次上那賀線他
工事箇所	那賀郡那賀町川成他
図面名	橋台補修工詳細図
縮尺	図示 図面番号 10 / 11
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局(那賀)

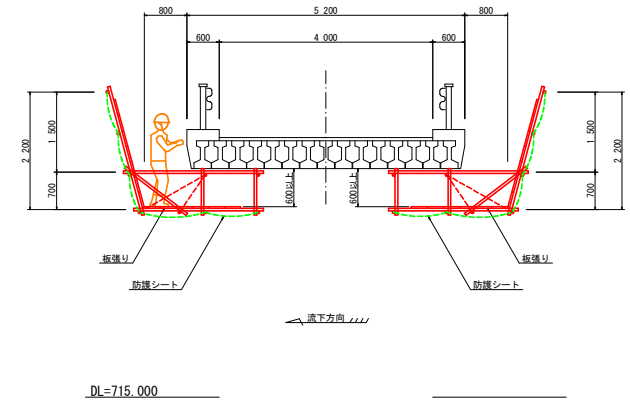
仮設工詳細図 S=1:50

〈地覆及び防護柵取替え時〉

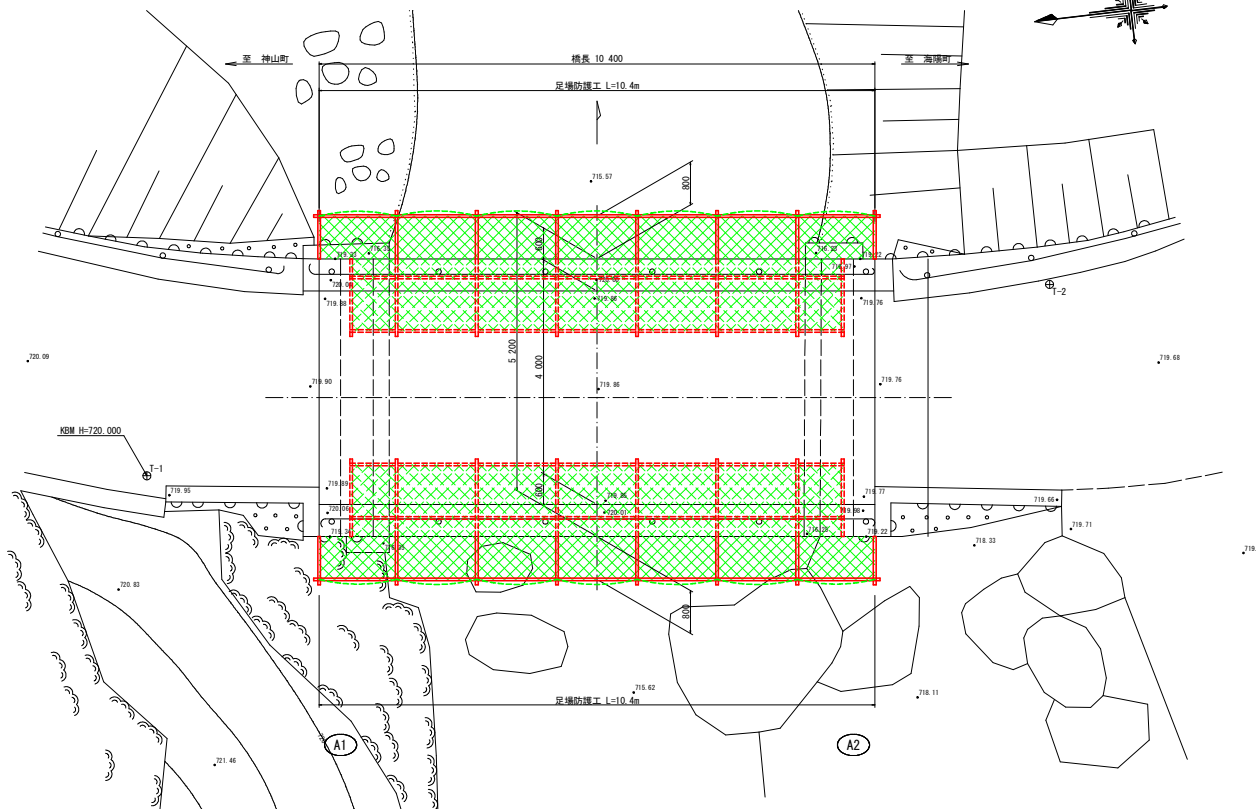
側面図



断面図



平面図



- ※) 主桁形状は、類似例からの想定したものである。
- ※) 地覆及び防護柵の取替え工事のため、足場の支点はそれ以外の部材に確保する。
- ※) 実施にあたっては現地に合わせて、適宜、計画の調整を行うものとする。

- ※) 図中の水準高さは任意とする。
- ※) 本図は参考であり、実施にあたっては現地状況と資材に適した足場構築を行うものとする。
- ※) 足場の設置は、非出水期（11月～翌 5月）を基本とする。

実施設計図面 (無名1巻)

工事名	R1郡土 木沢上那賀線（唐谷橋）他1橋 那賀・川成他 橋梁修繕工事		
路線名等	木沢上那賀線他		
工事箇所	那賀郡那賀町川成他		
図面名	仮設工詳細図		
縮尺	S=1:50	図面番号	11 / 11
会社名			
事業者名	徳島県南総合県民局(那賀)		